

「弾よけ祈願の軍人写真」

1979年(昭和54年)



保存されている弾よけ祈願の軍人写真と佐伯幸子さん

肉親見つけ返したい

山口県 徳地町 三坂神社が身元捜す

【防府】戦時に弾よけの神として、武勇長久を祈る参拝者が多かった山口県佐伯郡徳地町岸見橋ノ口の「三坂(みさか)神社」に、佐伯治典宮司では、当時の出征軍人の安全を祈る「祈願写真」

を「本人か遺族に返還したい」と言っている。栗年秋の千二百五十年祭まで身元探しを続け、不明分は、境内に埋めて「忠魂碑」を建てる計画。同神社は、平安時代に開防の国

に子社建てられたうちの「社で、大國主命が祭神。弾よけの神」として有名になったのは、日清、日露戦争のさい、同神社に祈願した人が全員無事で、このことが昭和十数年ごろの新聞に報じられた

め。その後、戦争が激しくなるにつれて参拝者が増え、一時は防府鉄道岸見駅から同神社までの二キロに人波が続き、一日最高、八百八十人もあったという。昭和十九年七月七日、サイパン島守備隊が主命した日には、参拝者の車まで中殿の壁が崩れ落ちる事故もあった。

参拝者は、若い出征兵の母が多く、写真を持参して同神社に祭つて愛息の安全を祈った。ほとんどが軍医寮の写真の裏にある住所と氏名は、防府、宇部、山口、小郡、岩国など県内が多かった。なかには福根、広島、名古屋、九州などもあった。

佐伯宮司の妻幸子さん(78)は「これまで住所のわかるものは返りました。写真のなかには戦争で亡くなられた方も多いため、肉親の方に返して供養させたい」と話している。

弾除け写真一万数千枚眠る

山口三坂神社 生死不明のまま



弾除け写真の整理をする佐伯富司

弾除け写真が眠る三坂神社



【訪府】戦後三十五年。山口県佐伯郡地所原の三坂神社には戦時中、出陣する夫や息子

の無事帰還を願った「弾除け(たまごけ)写真」が全国から四、五万枚も奉納されていた。糊塗した人は本人や家族がお礼参りに、願いかなわず戦死した人は遺族が訪れ、それぞれ写真を待ち留めていたが、神社で糊塗したところ、いままだ一万数千枚が、写真の主の生死不明のまま残されており、佐伯市岡宮町には「写真がある限り、私の戦後は終わらない」と心当たりの人を願っている。

三坂神社は約千三百年前、大國主命を祭神に創建、足利軍氏ゆかりの古刹とも奉拝され、日清、日露戦争の際、氏子が祈願して出征したところ、全員が無事に帰還した。写真は大きさは二、三センチ、一枚一枚に「お守り」の文字を添えて奉納し、お守り所、氏名を書いてお守り、お守りなく、台湾、朝鮮半島からあつた、参道は人が絶えず、一日に参拝者八百八十件もの所があった。終戦の時、海軍兵学校に在学中だった佐伯富司は、糊り上げ終了となり、糊塗、父親の手伝いをして、古道具を売られて写真は隣家の床下に隠して保存した。

昨年、五十歳になったのを機に

に糊塗したが、写真は大きさは二、三センチ、一枚一枚に「お守り」の文字を添えて奉納し、お守り所、氏名を書いてお守り、お守りなく、台湾、朝鮮半島からあつた、参道は人が絶えず、一日に参拝者八百八十件もの所があった。終戦の時、海軍兵学校に在学中だった佐伯富司は、糊り上げ終了となり、糊塗、父親の手伝いをして、古道具を売られて写真は隣家の床下に隠して保存した。

「たいと評ひかけている。」

佐伯富司の「弾丸に慣れた、無事帰還をいう、家族の切なる願いが込められている写真を手にして、私の戦後は風化していきたくは感じません」

久真 長
武 運の
祈 願の
写 真

林さん(井福)が名乗り

感慨「間違いありません」

山口県の三坂神社(佐伯市真宮)から日刊福井を過して遊里(三ノ宮)林さんは陸軍戦闘機(戦闘機)に搭乗してのハイロケットとして、写真で、四日、身元が確認されなかった写真の本人から連絡がおり、三十八年ぶりに本人の手元に戻った。この人は北陸自衛隊(北陸自衛隊)の航空隊(航空隊)に勤務する。林さん(井福)が名乗り、間違いありませんと断言した。林さんは、三十八年ぶりに本人の手元に戻った。この人は北陸自衛隊(北陸自衛隊)の航空隊(航空隊)に勤務する。林さん(井福)が名乗り、間違いありませんと断言した。

林さんが本社に届けた、自分の写真を見て「間違いありません」と断言した。林さんは、三十八年ぶりに本人の手元に戻った。この人は北陸自衛隊(北陸自衛隊)の航空隊(航空隊)に勤務する。林さん(井福)が名乗り、間違いありませんと断言した。

平瀬段下(平瀬段下)で入隊。広東を飛行し、マレーシア(マレーシア)の戦線(戦線)に配属。一九四二年七月(一九四二年七月)に第一戦隊(第一戦隊)に配属。山口(山口)の防府(防府)に下宿(下宿)した時、父(父)や妻(妻)が慰問(慰問)に来た。その時、三坂神社(三坂神社)で下宿(下宿)した林さん(井福)と林さん(井福)は、三十八年ぶりに本人の手元に戻った。この人は北陸自衛隊(北陸自衛隊)の航空隊(航空隊)に勤務する。林さん(井福)が名乗り、間違いありませんと断言した。



三十八年前の写真を見つめながら感慨深げの林さん＝日刊福井本社心機家で

